



### 子宮頸がんワクチンについて知りましょう

### 子宮頸がんはウイルス感染でおこるがんです

子宮頸がんの95%以上はHPV(ヒトパピローマウイルス)による持続的な感染が原因です。性交経験を有する人の大半が、HPVに”一生に一度は感染する”と言われています。感染しても、ほとんどの人ではウイルスが自然に消えますが、一部の人でがんになってしまうことがあります。感染を防ぐことががんにならないための手段です。子宮頸がんを防ぐためには、ワクチンと検診が大切です。

<一生のうち子宮頸がんになる人>  
1年に約1.1万人 1万人あたり132人  
<子宮頸がんで亡くなる人>  
1年に約2900人 1万人あたり34人

<30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人>  
1年に約1000人

ワクチンと検診が大切です!



### HPVワクチンの種類

#### <シルガード9>

子宮頸がんの原因の80~90%を防ぎます。  
尖圭コンジローマも予防できます。

一般的な接種スケジュール

#### シルガード®9

1回目の接種を15歳になるまでに受ける場合

0か月



6か月



合計2回

1回目の接種を15歳になってから受ける場合

0か月



2か月



6か月



合計3回

#### ガーダシル®

0か月



2か月



6か月



#### サーバリックス®

0か月



1か月



6か月



### 公費(自己負担なし)でのHPVワクチン接種について

#### 定期接種対象者

各年度に  
小学校6年生～高校1年生  
相当の女の子  
(2024年度の接種対象:  
2008年4月2日～  
2013年4月1日生まれ)



#### キャッチアップ接種対象者

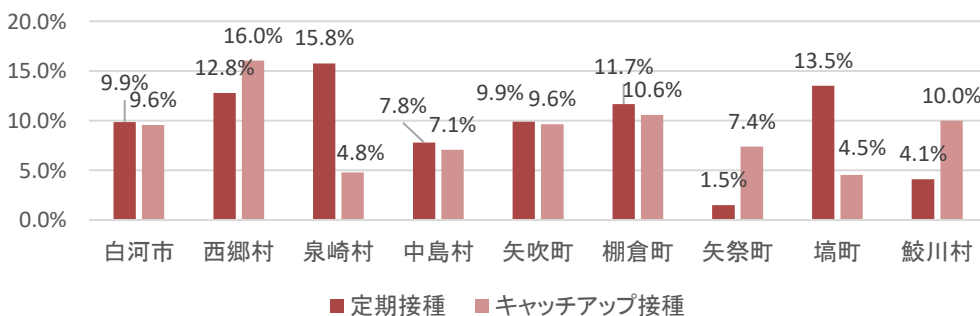
1997年4月2日生まれ～  
2007年4月1日生まれ  
かつ、過去にHPV  
ワクチンの合計3回の  
接種を完了していない方  
※2025年3月31日まで



#### 公費の補助がない場合の接種費用(3回接種)

サーバリックス®  
およびガーダシル®:  
4~5万円  
シルガード®9:  
8~10万円

#### 県南地域におけるHPVワクチン接種率(R5.9月時点)



カナダ、イギリス、オーストラリアなどでは、女の子の8割以上がワクチンを受けています。

接種方法については、住民票のある市町村のお知らせをご確認ください。

HPVワクチンに関するQ&A→



FAX

MAIL

発行元: 福島県県南保健所生活衛生部医療薬事課

0248-23-1252

kansen\_kennan@pref.fukushima.lg.jp

「県南地域感染症情報」に関する御意見、御質問等はFAX及びメールでお願いします。

県南保健福祉事務所ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21130a/>